



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年5月9日

上場会社名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング 上場取引所 東
 コード番号 2418 URL <http://www.tsukada-global.holdings>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田正之
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 石原啓次 TEL 03-5464-0081
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	11,571	7.6	△588	-	△866	-	△692	-
27年12月期第1四半期	10,757	△1.7	△165	-	△112	-	△128	-

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 △746百万円 (-%) 27年12月期第1四半期 △267百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	△14.19	-
27年12月期第1四半期	△2.64	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	80,657	30,735	38.1
27年12月期	80,327	31,807	39.6

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 30,735百万円 27年12月期 31,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	-	5.00	-	5.00	10.00
28年12月期	-	-	-	-	-
28年12月期(予想)	-	5.00	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,400	10.8	1,720	9.7	1,770	9.9	1,000	0.3	20.49
通期	59,500	10.6	6,200	15.0	6,250	15.1	4,100	5.7	84.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期1Q	48,960,000株	27年12月期	48,960,000株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	243,034株	27年12月期	131,534株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期1Q	48,801,360株	27年12月期1Q	48,828,466株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀の経済政策による景気回復が期待されたものの、世界経済の減速懸念による原油価格の下落や平成28年1月以降の為替や株価の変動など、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような環境下において、当社グループはブライダル市場、ホテル市場並びにリラクゼーション市場における新しい価値の創造、高品質かつ魅力ある店舗づくりと付加価値の高いサービスの提供に常に積極的に取り組みつつ、個性化・多様化するお客様のニーズに的確に対応することで、売上高の拡大と収益性の向上に努めてまいりました。しかしながら、マーケット環境の変化等により、婚礼事業の施行件数・受注件数が、前年同四半期に比べて大幅に減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,571百万円（前年同四半期比7.6%増）となりましたが、利益につきましては、営業損失588百万円（前年同四半期 営業損失165百万円）、経常損失866百万円（同 経常損失112百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失692百万円（同 親会社株主に帰属する四半期純損失128百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① 婚礼事業

当第1四半期連結累計期間においては、少人数婚礼をはじめ国内婚礼の施行件数は順調に推移しましたが、海外婚礼の施行件数の減少により、売上高は減少となりました。

この結果、当セグメントの売上高は6,829百万円（前年同四半期比2.4%減）、セグメント利益は28百万円（同 85.3%減）となりました。

② ホテル事業

当第1四半期連結累計期間においては、平成27年11月開業の「ストリングスホテル名古屋」の施行件数・受注件数は共に順調に推移し、既存ホテルにつきましても、インバウンド効果等もあり順調に推移し、売上高の増加に貢献いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は4,117百万円（前年同四半期比35.1%増）、セグメント損失は120百万円（前年同四半期は、セグメント損失8百万円）となりました。

③ W&R事業

当第1四半期連結累計期間においては、マーケットは堅調に推移いたしましたが、既存店舗の一時閉鎖等により、売上高は減少となりました。

この結果、当セグメントの売上高は625百万円（前年同四半期比11.9%減）、セグメント損失は78百万円（前年同四半期は、セグメント利益21百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ330百万円増加して、80,657百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却による減少427百万円があったものの、現金及び預金の増加626百万円、有形固定資産の増加372百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,402百万円増加して、49,921百万円となりました。これは主に、借入金及び社債の純増額2,808百万円、前受金の増加687百万円があったものの、未払法人税等の減少1,147百万円、その他の流動負債の減少918百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,071百万円減少して、30,735百万円となりました。これは主に、利益剰余金の配当244百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失を692百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年2月12日付け決算短信にて公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,589	18,215
売掛金	879	885
有価証券	362	362
商品	33	86
原材料及び貯蔵品	569	486
その他	2,491	2,512
貸倒引当金	△55	△55
流動資産合計	21,870	22,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,847	22,187
土地	14,854	14,636
その他(純額)	2,452	2,702
有形固定資産合計	39,154	39,526
無形固定資産		
のれん	2,538	2,471
その他	181	208
無形固定資産合計	2,719	2,679
投資その他の資産		
投資有価証券	4,285	3,858
敷金及び保証金	8,362	8,297
その他	3,836	3,708
投資その他の資産合計	16,485	15,864
固定資産合計	58,358	58,070
繰延資産	97	92
資産合計	80,327	80,657

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,258	2,291
短期借入金	—	260
1年内返済予定の長期借入金	2,857	3,606
1年内償還予定の社債	724	724
未払法人税等	1,369	222
前受金	1,131	1,819
その他	4,492	3,574
流動負債合計	12,834	12,498
固定負債		
社債	3,558	3,231
転換社債型新株予約権付社債	5,000	5,000
長期借入金	23,227	25,354
退職給付に係る負債	331	345
役員退職慰労引当金	691	675
資産除去債務	2,139	2,145
その他	736	671
固定負債合計	35,685	37,423
負債合計	48,519	49,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	634
利益剰余金	30,630	29,693
自己株式	△88	△169
株主資本合計	31,648	30,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28	10
為替換算調整勘定	190	96
退職給付に係る調整累計額	△2	△2
その他の包括利益累計額合計	158	104
純資産合計	31,807	30,735
負債純資産合計	80,327	80,657

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	10,757	11,571
売上原価	7,708	8,760
売上総利益	3,049	2,810
販売費及び一般管理費	3,214	3,399
営業損失(△)	△165	△588
営業外収益		
受取利息	21	19
受取配当金	25	8
匿名組合投資利益	60	74
その他	18	40
営業外収益合計	126	142
営業外費用		
支払利息	56	61
デリバティブ評価損	10	106
為替差損	—	244
その他	5	9
営業外費用合計	73	421
経常損失(△)	△112	△866
特別利益		
固定資産売却益	0	0
役員退職慰労引当金戻入額	—	14
特別利益合計	0	14
特別損失		
固定資産除却損	1	3
店舗閉鎖損失	2	1
投資有価証券売却損	—	117
特別損失合計	3	122
税金等調整前四半期純損失(△)	△115	△975
法人税等	12	△283
四半期純損失(△)	△128	△692
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△128	△692

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純損失(△)	△128	△692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83	39
繰延ヘッジ損益	△7	—
為替換算調整勘定	△48	△93
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△138	△53
四半期包括利益	△267	△746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△267	△746
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	婚礼事業	ホテル 事業	W&R 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,000	3,047	709	10,757	—	10,757
セグメント間の内部売上高又は振替高	191	50	—	241	△241	—
計	7,192	3,097	709	10,999	△241	10,757
セグメント利益又はセグメント損失(△)	194	△8	21	207	△372	△165

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△372百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△378百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	婚礼事業	ホテル 事業	W&R 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,829	4,117	625	11,571	—	11,571
セグメント間の内部売上高又は振替高	310	97	—	408	△408	—
計	7,140	4,214	625	11,979	△408	11,571
セグメント利益又はセグメント損失(△)	28	△120	△78	△170	△418	△588

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△418百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△420百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分の変更)

当社グループの報告セグメントの区分は、「国内婚礼事業」「ホテル事業」「海外事業」「W&R事業」(ウェルネス&リラクゼーション事業)の4つを報告セグメントとしていましたが、当第1四半期連結会計期間より、「婚礼事業」「ホテル事業」「W&R事業」の3報告セグメントに変更することとしました。

これは、グローバル市場での婚礼事業の成長を目指す組織体制の変更により、「国内婚礼事業」と「海外事業」を統合し「婚礼事業」セグメントとしたことによるものです。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

施行、受注及び販売の状況

(1) 婚礼施行実績

期別	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	前連結会計年度 (自平成27年1月1日 至平成27年12月31日)
セグメントの名称	施行件数 (件)	施行件数 (件)	施行件数 (件)
婚礼事業	2,330	2,204	12,253
ホテル事業	259	415	1,271
合計	2,589	2,619	13,524

(注) 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度の数値につきましては、変更後のセグメントの区分に組み替えて作成しております。

(2) 婚礼受注状況

期別	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)		前連結会計年度 (自平成27年1月1日 至平成27年12月31日)	
	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)
セグメントの名称						
婚礼事業	3,495	7,847	3,329	7,141	11,587	6,016
ホテル事業	504	1,070	507	1,334	1,688	1,242
合計	3,999	8,917	3,836	8,475	13,275	7,258

(注) 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度の数値につきましては、変更後のセグメントの区分に組み替えて作成しております。

(3) 販売実績

期別	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	前連結会計年度 (自平成27年1月1日 至平成27年12月31日)
セグメントの名称	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
婚礼事業	7,000	6,829	37,071
ホテル事業	3,047	4,117	13,778
W&R事業	709	625	2,954
合計	10,757	11,571	53,804

(注) 1. 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度の数値につきましては、変更後のセグメントの区分に組み替えて作成しております。

2. セグメント間取引については、相殺消去しております。

3. 金額には、消費税等は含まれておりません。